

第21回「黒岩知事との“対話の広場” Live 神奈川」

テーマ

スマイルかながわ

第2弾：“認知症”を考える

日時 平成29年9月5日（火） 午後6時30分～8時00分

会場 県立青少年センター 多目的プラザ

ゲスト ・藤原 佳典 氏（東京都健康長寿医療センター研究所

社会参加と地域保健研究チーム研究部長）

・杉山 孝博 氏（公益社団法人認知症の人と家族の会神奈川県支部代表・

川崎幸クリニック院長）

プログラム

■ 開会

■ 知事のあいさつ

■ ゲスト・プレゼンテーション

・藤原 佳典 氏

・杉山 孝博 氏

■ 参加者の皆様と知事との意見交換

◇ツイッターで寄せられた意見の紹介

■ まとめ

◇知事からひとこと

■ 閉会

【お願い】

- ※ 携帯電話等は電源を切るかマナーモードをお願いします。
- ※ 会場の様子はインターネットで生中継を行います。あらかじめご了承ください。
- ※ 発言ご希望の方は挙手をし、指名されてからお話してください。
- ※ なるべく多くの方にご発言いただくため、発言は3分以内をお願いします。
- ※ 対話の広場の円滑な進行のため、テーマと異なる趣旨のご発言はご遠慮ください。
- ※ 発言の際は参加者の皆様に聞き取りやすくお話しいただくようご配慮ください。
- ※ 発言ご希望の方が多数の場合は、お時間の関係でご発言いただけない場合もあります。あらかじめご了承ください。
- ※ アンケートの回答にご協力をお願いします。

○認知症 VR（バーチャルリアリティ）体験コーナーを2階ロビーに開設しますので、イベントの前後の時間にお立ち寄りください。（協力：横浜市立市民病院 横山太郎医師、㈱シルバーウッド VR事業部）

<ゲストコメンテーターの紹介>

○藤原 佳典（ふじわら よしのり）様

東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健研究チーム研究部長

北海道大学医学部卒、京都大学大学院医学研究科修了(医学博士)。2004年より高齢者の社会貢献型ヘルスプロモーション研究の一環として、世代間交流型絵本の読み聞かせシニアボランティアプログラム「りぷりんと」を開発し、認知症予防・健康増進と子ども・子育て世代、地域へもたらす多面的効果を実証した。

NPO法人りぷりんとネットワーク理事として、川崎市多摩区や横浜市青葉区をはじめ全国15自治体で、絵本の読み聞かせプログラムを展開中。2011年より現職、東京都健康長寿医療センター物忘れ外来兼務。多世代共生の地域づくりの視点から高齢者の社会参加と認知症予防について実践的研究を進めている。

日本老年医学会評議員、日本老年社会学会理事、日本世代間交流学会副会長、内閣府高齢社会対策の基本的在り方等に関する検討会委員他、多数の自治体の審議会座長を歴任。

○杉山 孝博（すぎやま たかひろ）様

公益社団法人認知症の人と家族の会神奈川県支部代表・川崎幸クリニック院長

愛知県生まれ。東京大学医学部卒。東大医学部付属病院で内科研修後、患者・家族とともにつくる地域医療に取り組もうと考えて、1975年川崎幸病院に内科医として勤務。以来、内科の診療と在宅医療に取り組んできた。1998年9月川崎幸病院の外来部門を独立させて川崎幸クリニックが設立され院長に就任し、現在に至る。

1981年から、公益社団法人認知症の人と家族の会（旧呆け老人をかかえる家族の会）の活動に参加。全国本部の副代表理事、神奈川県支部代表。公益社団法人日本認知症グループホーム協会顧問、公益財団法人さわやか福祉財団評議員。

著書は、「マンガでわかる 認知症の9大法則と1原則」（法研）、「認知症の9大法則 50症状と対応策」（法研）、「イラストでわかる 高齢者のからだと病気」（中央法規）など多数。